

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 冬休み号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
令和元年12月24日発行

まもなく令和2年

この12月は、例年よりもインフルエンザの流行が早く、計8クラスが学級閉鎖となりました。冬休み前の朝会も、流行を考慮して体育館に集まるのではなく、放送で行いました。風邪やインフルエンザは、寒さが厳しくなるこれからが本番と思われます。かなりの高熱が見られるようです。体調管理には十分気をつけてください。

そして、明日25日(水)から子どもたちが楽しみにしている冬休みです。今年から23日の「天皇誕生日」がなくなったので、少しいつもと違う感じもありますね。年末年始には、日本にはいろいろと行事があります。大掃除をしたり、除夜の鐘を聞いたり、年越しそばやお雑煮を食べたり、初詣に行ったり、書初めをしたり、そしてお年玉をもらったりなど1年に一度というものが多くあるので、いろいろなことを行って、学んでほしいと思います。

令和最初の冬休みです。何より楽しい冬休みにしてください。学校から配付された『冬休みの過ごし方』を家族と一緒に読んでいただき、気をつけることを話し合ってください。子どもたちが事故にあわずに、1月7日(火)に全員が元気に登校することを願っています。

ミュージックダンス大会

12月上旬の5日間にわたって、「ミュージックダンス大会」が行われました。「一生に一度のダンス大会！ゴー！トライ！ダンス！」と、今年も流行に敏感なテーマでした。

今年は1年生は参観のみとなりましたが、2年生以上の多くのクラスが参加して大いに盛り上がりました。こちらも今年の流行語の「レッツ、スターティン！」の掛け声でスタートした2分30秒。1曲で踊るクラスもあれば、曲を短くつなぎ合わせた「メドレー」を披露するクラスなど、子どもたちの創意工夫が感じられました。

そして、その完成度。「好きこそものの上手なれ」という言葉を思い出しました。今どきの子どもたちは、やはりダンスが好きなんだな、と改めて実感しました。また、うちわをもって応援する姿も見られ、演じる方も、見る方も一体感をもったダンス大会でした。

学級閉鎖で参加できなかったクラスがあったのが残念でした。担当してくれた皆さん、参加した皆さん、まさに一生に一度のダンス大会でした。見学していただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。



お客さんが多いことで、やる気も上がります。